

ご祈禱のご案内

午前十時より午後三時頃まで随時執り行います。通常は神職が社務所におりますが、所要にて不在もありますので事前にお電話にてお問い合わせ下さい。

◇ご家族や個人の御祈禱

家内安全・身体健康・合格祈願・八方除・方位除・心願成就・病氣平癒・必勝祈願・お宮参り・七五三詣・安産祈願 等

◇交通安全祈願・車輛清祓 車購入時

◇厄祓(厄年表 数え年) 早めにお祓いを!

男 二十五・四十二・六十一歳…本厄
女 十九・三十三・三十七歳…本厄

平成二十一年 厄年表

前後は前厄・後厄といひ三年間続きます
※ 上・生まれ年/下・数え年

	前厄	本厄	後厄
男性	昭61年 24歳	昭60年 25歳	昭59年 26歳
	昭44年 41歳	昭43年 42歳	昭42年 43歳
	昭25年 60歳	昭24年 61歳	昭23年 62歳
女性	平4年 18歳	平3年 19歳	平2年 20歳
	昭53年 32歳	昭52年 33歳	昭51年 34歳
	昭49年 36歳	昭48年 37歳	昭47年 38歳

秋保神社社報

平成二十年 秋保神社御鎮座千二百年
平成二十一年令記 秋保神社改称百年



社務所別棟新築工事上棟祭 散銭散餅の儀

◆ご家庭の幸せは、まず神まつりから
◆一日十五日は神社へお参りしましょう

奉祝天皇陛下御即位二十年ご結婚五十年

◇会社や団体の祈願

商売繁盛・社内安全・安全祈願・必勝祈願・合同厄祓・遠曆祓 等

◇神社から出向してお祓い

家祓・地鎮祭・火入れ式・解体祓・上棟祭・井戸祓・木伐祭・ホテル等での団体厄除祈願等

◇氏神祭・神棚祭 お日待ち

各戸毎に昔から決まった日に行われてきたお祓いで、それぞれの家の例祭に当たります。床の間や神棚の前と、邸内社 お明神様など)の前に祭壇を設けて行います。また、年末のお祓いや春祈禱などとして、一年に一回以上家のお祓いを受けて、家の災難除けと一家の無事息災を祈ります。

特に大切な神事ですので、現在途絶えている場合でも今一度いにしえから受け継がれた家の伝統・風習を思い返し、再び行われますよう、ご連絡をお待ち申し上げております。

◇方位・家相・年回りの相談

吉相・凶方位などの診断・相談
建築などに伴う年回りの相談
ご不安な点があったらお気軽にどうぞ。

秋保神社社報 第六号 記念事業特別号
発行所 秋保神社社務所
代表者 宮司 高山晃和
仙台市太白区秋保町長袋字清水久保北三二
電話 〇二二三九一三〇八 FAX兼

ご挨拶

畏くも天皇陛下におかせられては御即位二十年を迎えられ、また天皇皇后両陛下御結婚五十年の記念の年でもあり、誠に御目出度く、御皇室の弥栄をご祈念申し上げますと共に、今年十月二十四日県の奉祝大会も予定されておりますので、氏子ごぞつてお祝い申し上げたいと存じます。
さて、今年も早いものでもう半分、稲穂も青々と美しい田園風景が目まぶしい季節となりました。
神社におきましては、氏子崇敬者の崇敬の誠によりまして、諸祭儀はもとより、記念事業につきましても、着々と進められておりますことに深く感謝申し上げます。
お参りになる方も少しずつ増えていくように見受けられますが、今後とも、皆様と皆さんの中取り持ちとして神社に参り祈る心を大切にして御奉仕してまいりたいと思っております。

◆恒例祭のご案内

〇夏越大祓 六月二十日 午後二時

半年に一度個々の罪穢れを祓い清めると共に残り半年の御加護を祈ります。

今年をはじめて行います。めずらしい茅の輪くぐりもする予定です。

※参列自由ですので、御都合付けてお越し下さい。出来ない場合は、神社よりお配りした形代 大形で各自お祓いをし、当日まで神社にお持ち下さい。

例大祭のお知らせ

平成二十一年の例大祭は、昔からの祭礼日である九月十五日を守りつつ、十二・十三日の土日に奉祝行事を行う予定です。楽しいお祭りにすべく様々な企画を検討中ですので、乞うご期待です。

演芸大会などでは出演者やお手伝い頂く祭典委員も募集致しております。

編集後記

例年お正月さまと一緒に配りしている社報、今回の第六号は記念事業特別号として、事業の進捗状況などもあわせてお知らせ致したく、発刊する運びとなりました。皆さんの神社ですので、少しでも構いません。時間を作ってお参り少々実際ご覧になりいらしてください。お茶のみ相手がほしい……?

秋保神社合祀並びに御社名改称百年

特に今年には合祀改称百年の記念すべき年であります。このことは、明治四十二年明治天皇様が全国に勅令を出しになり全国各社においても合祀が進められました。合祀とは字のごとく神様を同じところに合わせまつること、戦前神社は国家の管理下にあり、秋保においても一社にと主な神社を全て元諏訪神社にまとめ秋保神社として祀りました。まとめられた案件は維持・管理が行き届いていない無格社であったようですが、その後は総社秋保神社として手厚く祀られるようになりました。しかるに秋保神社には八社、十柱九祭神がまつられております。後に各社は地元の希望により再び御分霊として勧請されました。秋保はこのように沢山の御利益ある神々が協力して地域や氏子を守っておられますので、どうぞ皆さんもそのご加護にあずかるよう、本社も各社も大切にしたいとお願ひします。この年の意義は地域がまとまり、一つに結束する契機にすることでしょう。

記念事業社務所改修上棟式齋行

平成二十年より二九年に亘り、御創建千二百年、御社名改称合祀百年記念として只今諸事業を推進してまいります



5月8日 地鎮祭 鍬入れの儀

が、その中心事業として社務所別棟の新築工事が現在進められております。

この建物は、従来の社務所の東側に連結する事により参拝者への対応を円滑にする事を目的に建てられ、御祈願の受付や授与所として使用されます。着工に先立ち、五月八日には関係者の参列のもと、



5月24日 上棟祭 曳綱の儀

地鎮祭が執り行われ、工事は無事進捗し、五月二十四日夕方には上棟式が盛大に齋行されました。上棟式は、建

物の棟木を上げるにあたり家屋や工匠の守り神をお祀りして無事棟上げに至ったことを感謝、祝福すると共に、竣工に至るまでの工事の安全と建物の堅固長久を祈願する儀式です。

当日は天候にも恵まれ、屋根上の棟木の中央に五色の幟で彩られた御幣が奉られ、天地の災難を祓うため左右には弓矢が飾られました。式では、宮司祝詞奏上の後、先ず、工匠の「エイ・エイ・エイ」という威勢よい掛け声と共に参列者全員で綱を引き棟木を曳き上げる「曳綱の儀」

で始まり、次に「千歳棟・方歳棟・永永棟」の掛け声と共に棟木が束柱に打ち固められる「槌打の儀」が行われました。そして最後には「撒銭・撒餅の儀」で天地の

神々に感謝のお供えがされ、境内は福を授かるうと福銭や福餅を受ける沢山の参拝者で賑わいました。



また今年もご神前では、仙台市無形文化財の由緒ある神楽の初奉納もありました。

更に今年初めミニ灯笼や幟など冬の夜空に賑やかな演出をしたり、おでんや甘酒などの出店もあり、新たな秋保の冬の伝統行事がはじまりました。

二月節分祭

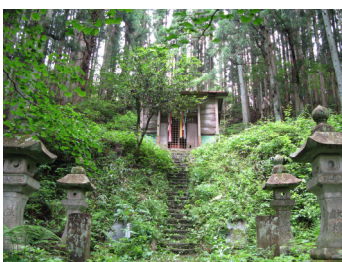
今年初めて、立春を前に日曜日に合わせて節分祭を行いました。年男年女厄年の方や総代の皆さんが袴姿になり、御祈禱の後盛大に豆まきを行いました。



境内には今年の福を頂こうと大勢の参拝者が訪れました。豆の他にも沢山の福ものを撒いたり、もちつき大会や、

ご祭神のご紹介 第六回

秋保神社の御祭神は九柱を数え、元村社諏訪神社に明治四十二年 旧秋保町の全神社（無格社）の御神体を遷し合わせ祀られました。その一つに境野の山の中腹に鎮座する八幡神社があります。由緒は文治年中（一一八五年 平家滅亡の年）の勸請とあり、その昔は宮守早坂家の氏神だったとの事ですが、後に部落で祀られるようになりました。八幡神社の御祭神は応神天皇（誉田別尊）であり、神功皇后が朝鮮半島に遠征した際、お腹に御子 後の応神天皇 を身籠りながらも新羅の国を平定させ、凱旋した後無事出産されたことから「武家の守護神」又「安産の神」として尊崇されてまいりました。時代の変遷と共に大分の宇佐神宮より京都の石清水八幡宮、鎌倉の鶴岡八幡宮へと勸請され、全国津々浦々へと信仰が広がりましたが、多く祀られた神社である。現在毎年五月に例祭が執り行われます。



子供たち向けに凧作り体験などの企画もあり大いに賑わい、鬼は追ひ払われ沢山の福顔で賑わいました。

二月十七日 祈年祭

収穫を祈る大祭で新嘗祭とともに全国の神社で行われる重儀であり、地域の代表として役員総代・若長が参列



し、秋保全体の稲作を中心とした作物の豊作を祈願致しました。

五月二十三日 総会

氏子の代表として地域より選ばれた総代若長が出席し平成二十一年度総会が例年よりも早めて開催され、提出された議案は原案通り承認されました。今年度も神社の御事につきまして氏子の皆さんのご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

諸祭儀・行事報告

年越し・正月

今年もまた大雪で清められ清々しく新年を迎えました。多くの氏子崇敬者が初詣に参り、荘厳なる境内では神前に一年の計を誓う姿が多数見られました。今年特に例年になく賑やかに新年を迎えましたが、祭典委員会を中心として初めてお目見えの秋保新名物「年越しそば」また特製甘酒など、不景気に負けない明るい底力を感じました。縁起物として準備した神社特製の福凧やミニ角松も人気でした。



どんと祭

松飾などの正月飾りや古札・古いお守りなどを忌火でお焚き上げし、無病息災を祈る行事。寒さ厳しき中、お焚き上げに多くの参拝がありました。御神火にあたり今年一年の健康を祈りました。